第 10 講 【現代編】戦間期の大衆化
PART1 西欧の混乱とアメリカの繁栄

Chapter1　ドイツ・イタリアの混乱

目標
ドイツの国際社会への復帰の流れをおさえよう。
ファシズムとはどんな体制か理解しよう。

1　ドイツの混乱

シュトレーゼマン

①ドイツの賠償問題とインフレーション

1921年　ドイツの賠償金額決定（1320 億金マルク）
※ドイツは支払い延期を要求。

1923年　フランス・ベルギーによるルール占領に対する不服従運動
※破局的な**インフレーション**が発生し，シュトレーゼマン首相が**レンテンマルク**を発行。

1924年　**ドーズ案**
※アメリカの銀行家らによる支払期限の延長と外貨導入による打開策。

②ドイツの国際社会復帰

首相から外相となった〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が活躍。

1925年　**ロカルノ条約**
※イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ポーランド・チェコスロヴァキアが結んだ集団安全保障条約の総称。ドイツの国際的地位が向上。
※この年，エーベルト大統領が亡くなり**ヒンデンブルク**が大統領に就任。

1926年　ドイツの〔　　　　　　　　　〕加盟
※イギリス・フランス・イタリア・日本とともに常任理事国となる。

1929年　**ヤング案**
※アメリカの銀行家らによる賠償金の減額策（358 億金マルク）
※ 59年の長期払いとしたのでドイツ国内の反対運動を引き起こした。
アメリカ発の〔　　　　　　　　　〕発生
※ 1931年の**フーヴァー = モラトリアム**で支払いを 1 年延期。

1932年　ローザンヌ会議

※賠償金の減額（30億金マルク）により賠償問題は事実上打ち切りに。

2　イタリアのファシズム

〔　　　　　　　　〕率いる〔　　　　　　　　〕**党**は，国内危機の原因を〔　　　　〕勢力の活動や，自由主義の下での議会制民主主義にあると考えた。

※左翼運動を暴力で攻撃し，強権的な指導者や国家が生活を統制して国民統合をはかる「(右翼的）**全体主義**＝〔　　　　　　　　〕」を主張。

※政府を攻撃しつつ合法的に政権を奪取した。

1922年　〔　　　　　〕**進軍**→黒シャツ隊による

※ムッソリーニが国王の指示で**首相**に任命され，ファシズム大評議会に権力を集中させて一党独裁体制を確立。

1926年　アルバニアを保護国化

1929年　ラテラノ条約

※**ローマ教皇庁と和解**し，教皇庁〔ヴァチカン市国〕の独立を認める。

ムッソリーニは，大衆動員を積極的に利用し，社会事業や国内開発も推進したが，市民的自由や人権を無視する国家主義を掲げ，反対派を弾圧した。

ムッソリーニのローマ進軍

まとめ　ドイツは，国際連盟加盟と賠償金減額を経て国際社会へ復帰していった。
ファシズムはイタリアで成立した右翼的な全体主義思想をいう。

Chapter2　アメリカ合衆国の繁栄

目標
アメリカが戦後，債権国になることができた理由を考えよう。
戦間期アメリカの“永遠の繁栄”を牽引した政党をおさえよう。

1　アメリカの経済的繁栄

①債務国から**債権国**へ→［　　　　　　　　　　］が国際金融市場の中心の一つに

第一次世界大戦（1914～18年）中，連合国へ大量の物資と多額の**借款〔戦債〕**を提供して利益をあげる。戦後，アメリカ国内の市場を高関税政策で保護。

※アメリカは1917年から参戦。

②イギリス・フランスなどが求めた戦債返済免除を拒否

戦後のヨーロッパ経済の復興は遅れるが，**ドーズ案**（1924年）・**ヤング案**（1929年）でドイツの賠償問題解決を主導し，復興は軌道に乗る。

2　アメリカの政治的繁栄

戦間期に**ヴェルサイユ・ワシントン体制**を牽引，“**パクス＝アメリカーナ**〔アメリカの平和〕”状態となる。

①パリ講和会議（1919年）

民主党の**ウィルソン大統領**が十四カ条で主導。ヨーロッパでドイツを封じ込める。

②**国際連盟の加盟は拒否**（1920年）

共和党を中心に孤立主義的雰囲気が高まる。

③ワシントン会議（1921～22年）

アジア・太平洋地域で日本を封じ込める。

④［　　　　］**条約**〔ケロッグ・ブリアン条約〕（1928年）

ケロッグ国務長官がフランス外相ブリアンと主導。

⑤ニューヨークの繁栄

3　繁栄の光と陰

①**民主主義**の基礎の拡大➞ 1920年に〔　　　　　〕**参政権**が認められる

②〔　　　　　〕**党**政権下の自由放任政策による“〔　　　　　〕**の繁栄**”の光と陰

A　**ハーディング➞クーリッジ➞**〔　　　　　　　　　　〕大統領の３代

B　**大量生産・大量消費社会**の形成

C　伝統的な白人社会の価値観を強調

D　〔　　　　　　〕を制定（1919～33年）

E　**移民法**（1924年）で東欧・南欧系移民を制限し日本を含むアジア系移民を全面禁止

禁酒法

まとめ

アメリカは第一次世界大戦中，連合国に巨額の借款を与え，債権国となった。
戦間期のアメリカの“永遠の繁栄”を主導したのは共和党だった。

第10講 PART1　確認問題

1 ドイツのシュトレーゼマン首相がとったインフレーション対策はどれか。

①　ドーズ案の作成　　②　レンテンマルクの発行
③　ヤング案の作成　　④　ローザンヌ会議の開催

2 ドイツの賠償問題について，支払期限の延長と外貨導入による打開策はどれか。

①　ヤング案　　②　ドーズ案
③　ミュンヘン協定　　④　ケロッグ・ブリアン条約

3 イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ポーランド・チェコスロヴァキアが結んだ集団安全保障条約の総称を何というか。

①　ラテラノ条約　　②　トリアノン条約
③　ロカルノ条約　　④　セーヴル条約

4 ドイツの賠償問題について，賠償金の減額策はどれか。

①　ドーズ案　　②　ケロッグ・ブリアン条約
③　ヤング案　　④　ミュンヘン協定

5 1931年，ドイツに対し賠償金支払いの１年間停止を宣言したアメリカ大統領はだれか。

①　ハーディング　　②　クーリッジ
③　ウィルソン　　④　フーヴァー

6 イタリアのムッソリーニが率いていた政党はどれか。

① ファシスト党　② 青年イタリア
③ カルボナリ　④ 皇帝党

7 イタリアのムッソリーニ政権がローマ教皇庁と和解した条約を何というか。

① ラテラノ条約　② トリアノン条約
③ セーヴル条約　④ ロカルノ条約

8 十四カ条を発表し，パリ講和会議を主導したアメリカ大統領はだれか。

① ハーディング　② フランクリン＝ローズヴェルト
③ フーヴァー　④ ウィルソン

9 国際協調の機運の中，1928年に不戦条約を提唱した人物の組み合わせとして正しいのはどれか。

① ブリアンとマクドナルド　② シュトレーゼマンとブリアン
③ ケロッグとブリアン　④ マクドナルドとケロッグ

10 アメリカの共和党政権下における歴代大統領の順番として正しいのはどれか。

① クーリッジ→フーヴァー→ハーディング
② クーリッジ→ハーディング→フーヴァー
③ ハーディング→フーヴァー→クーリッジ
④ ハーディング→クーリッジ→フーヴァー

第10講　PART1　確認問題 解答

1 解答：②　レンテンマルクは，土地を担保とした不換紙幣としてレンテン銀行から発行された。

①：アメリカの銀行家らによる賠償金支払期限の延長と外貨導入による打開策。
③：アメリカの銀行家らによる賠償金の減額策。
④：ドイツの賠償問題と英仏の対米戦債問題について開催された国際会議。

2 解答：②　ドーズ案によって当面の賠償問題の危機は解消され，フランス・ベルギー両国軍もルールから撤退した。

①：アメリカの銀行家らによる賠償金の減額策。
③：ドイツの東方侵略を容認する宥和（ゆうわ）政策。
④：戦争を否定する国際条約。

3 解答：③　ロカルノ条約により，ドイツの国際的地位が向上した。

①：イタリアのムッソリーニ政権とローマ教皇庁との間で結ばれた条約。
②：ハンガリー王国と連合国との間で結ばれた第一次世界大戦の講和条約。
④：オスマン帝国と連合国との間で結ばれた第一次世界大戦の講和条約。

4 解答：③　ヤング案は 59 年の長期払いとしたため，ドイツ国内の反対運動を引き起こした。

①：アメリカの銀行家らによる賠償金支払期限の延長と外貨導入による打開策。
②：戦争を否定する国際条約。
④：ドイツの東方侵略を容認する宥和（ゆうわ）政策。

5 解答：④　フーヴァー大統領は，世界恐慌発生時のアメリカ大統領。

①：ワシントン会議を提唱した大統領。
②：世界恐慌勃発前，アメリカ経済の好況が続いていたときの大統領。
③：十四カ条を発表し，国際連盟設立を提唱した大統領。

6 解答：①　ファシスト党は，（右翼的）全体主義〔ファシズム〕を主張した。

②：1831 年に，自由主義者マッツィーニが結成した政党。
③：1806 年頃，南イタリアで結成された秘密結社。
④：中世イタリアにおいて，神聖ローマ皇帝を支持した勢力。

7 解答：①　ラテラノ条約でイタリアは教皇庁〔ヴァチカン市国〕の独立を認めた。

②：ハンガリー王国と連合国との間で結ばれた第一次世界大戦の講和条約。
③：オスマン帝国と連合国との間で結ばれた第一次世界大戦の講和条約。
④：イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ポーランド・チェコスロヴァキアが結んだ集団安全保障条約の総称。

8 **解答：④**　ウィルソン大統領は，第一次世界大戦期に大統領を務め，国際連盟設立を提唱した。

①：ワシントン会議を提唱した大統領。
②：世界恐慌に対処するため，ニューディール政策を推し進めた大統領。
③：ドイツの賠償金と戦債の英・仏などの 1 年間の支払い猶予を打ち出した大統領。

9 **解答：③**　不戦条約はケロッグ・ブリアン条約とも呼ばれる。ケロッグはアメリカの国務長官，ブリアンはフランス外相。

①：マクドナルドはイギリスの首相で，1924 年にイギリス初の労働党内閣を組織した。
②：シュトレーゼマンはドイツの首相・外相で，ドイツの国際的地位の向上に貢献。
④：マクドナルドはイギリスの首相。

10 **解答：④**　ハーディング，クーリッジ，フーヴァーが大統領に就いていたのは 1920 年代で，「永遠の繁栄」ともいわれた。